

第6回航空気象研究会開催のお知らせ

第6回航空気象研究会を下記の要領で開催します。
入場は無料です。なお、講演要旨については気象学会
の航空気象研究連絡会のホームページに掲載します。

日時：2012年2月7日（火）13時30分～18時00分

場所：気象庁講堂（気象庁2階）

発表題目（発表予定順）：

1. 飛行障害現象予測の精緻化
—乱気流予測指数の利用について—
河合克仁（防衛省航空自衛隊
航空気象群気象業務隊）
2. 温位の活用による晴天乱気流対策
下坂貞夫（日本航空機操縦士協会）
3. 三沢飛行場に侵入する霧の構造について
吉井克英（防衛大学校地球海洋学科）
4. 衛星リモートセンシングを用いた下層雲の雲底高度
推定手法
藤井貫志，菅原広史（防衛大学校地球海洋学科）
5. 航空気象予報における衛星画像の利用
—現状と将来—
原 基（気象庁予報部予報課航空予報室）
6. 気象庁における空港気象ドップラーライダーを用
いた低層ウィンドシアア検出システムの開発・改
善の取り組み

山本健太郎，中里真久，新垣貞則，
織田 周，小林広征（気象庁観測部
観測課観測システム運用室），
林 俊宏（気象庁観測部観測課
航空気象観測室）

7. 台風1115「ROKE」の眼の周辺における高層気象
観測結果について
福留賢一郎（防衛省航空自衛隊
航空気象群浜松気象隊）
8. 離陸直後に発生する着氷についての考察
藤城希恭（防衛省航空自衛隊
総隊司令部飛行隊）
9. ATM と気象のかかわり～現在・過去・未来～
宮腰紀之（気象庁予報部予報課航空予報室），
岩瀬達也（国土交通省航空局交通管制部管制課）
10. 航空機運航に影響を与える気象と「将来の航空交
通システムに関する長期ビジョン」の紹介
坂本 圭（全日空）

主催：日本気象学会航空気象研究連絡会

問い合わせ先：古川武彦（takefuru@eos.ocn.ne.jp），
馬場雅一（m-baba@met.kishou.go.jp）

URL：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj/LINK/kouku/kouku.htm>